

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書②

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

花・野菜の栽培と食

<テーマの設定理由>

食べることが大好きな子どもたちに、野菜の生長や収穫の喜びを体験させたい  
日頃から、園庭で育てた野菜、感謝際には持ち寄った食材を幼稚園で調理して食べている  
園庭のかまどで煮炊きする様子を見ることで、食への興味・関心を深めてほしい

### 2. 活動スケジュール

花の苗を植え世話をする

野菜の種を植え世話をし、収穫したらみんなで食べる

幼稚園にゆかりのある方から頂く梅に子どもたちがフォークで穴を開け、梅ジュースを作る(梅ジュースに始まり、梅ジャムも作り年度末まで堪能する)

園庭に生えているどくだみの葉を煮詰め、虫除けスプレーを保護者が作り、外遊び時に活用する

親子芋掘りで持ち帰った芋づるを保護者にリースに仕立ててもらう

園庭で伐採した枝を乾かし竈での煮炊きに使い、残った枝は制作活動に使う

近くの公園に出掛け、焚きつけ用の乾いた小枝をたくさん拾う

園庭で火を焚き、持ち寄った食材でカレーを作ったり焼き芋を作ったりして食べる

### 3. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動のために用意したもの

花の苗 野菜の種 培養土 鳥避けシート

砂糖 カレールー 油 調味料

火を使う様子を見せる際は、複数の保育者が子どもと共に活動し、近づきすぎないよう声をかけ事故のないよう注意した

梅の実にフォークで穴を開ける子どもたち、みんな真剣



瓶を囲んで「明日飲める？」  
「明日は飲めないよ」  
保：そうです、1カ月待ちましょう



有志のお母様が集まって、  
「どくだみを使って、『虫よけスプレー』を作ろう講習会」開催

(オリーブの会室にて)

夏の園庭で、公園で大活躍



親子芋掘りは今年も大豊作、翌日有志の保護者に芋づるリースを作って頂き、クリスマスに、幼稚園からリボンと木の実を添えて園児ひとりひとりにプレゼント各家庭で様々なリースが作られ、広報誌で紹介もされた

三鷹市北野 富澤ファーム



園庭に臨時的焚火場所を子どもたちと掘り、全園児が持ち寄った食材でカレーを煮込むための竈とする

予め、近所の公園で、焚き付け用の乾いた枝を全園児で拾ってきてある  
保育者が、「折るとぼきっと音がする枝が、乾いていてよく燃える」と伝えると、みんな上手に集める、結果マッチ一本で火が付いた。

大きい組の子どもたちは、感動の声を上げる  
園庭の枝をおろした木を乾燥させておいた、その枝をくべて、よい焚火となった  
火が大きくなっていく様子をおしゃべりもせず、じっと、ずっと見続ける子どもが数名

大騒ぎの興奮ではなく、静かに心が動いているのがわかった  
嬉しくドキドキする良い時間だった、子どもの心に残るとよいと願う



子どもたち一人一人が、みんなのためにできることをして、ホールで一緒に会食

食べることは生きること、生きることは楽しいこと、一緒に食べたらもっとおいしい!

収穫感謝祭で捧げられた野菜で作ったお味噌汁  
満3歳児も5歳児も  
「おいしい」と舌鼓



園庭の竈で焼き芋



「熱いけどおいしいね！」



「ほうれんそうの種、見るの初めて～」保：先生も～  
異年齢の子どもたちがプランターの雑草取りから  
力を合わせて頑張った種まき



収穫もみんなで  
「引っ張っても抜けないねえ」「土を掘っ  
たらいいんじゃない?」「本当だ」  
そしてみんな土まみれに...  
ゆでて食べたほうれんそうが甘くておいし  
かったこと!



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

焼き芋の皮など、気持ち悪がって手が出なかった子どもが、仲間の様子につられて皮  
までパクパク食べるようになる

小さなできごとの中に、幼い者にとっての大きな喜びがある  
喜びの時を増やす良い時間であった